

小平市 農業委員会だより



発行:小平市農業委員会 〒187-8701 小平市小川町2丁目1333番地
電話:042-346-9533(直通) FAX:042-346-9575

小平市農業者顕彰受賞伝達式が行われました

令和7年度も数多くの農業者が栄えある賞を受賞され、令和8年3月23日に小平市農業者顕彰受賞伝達式が行われました。受賞された農業者の皆様、誠におめでとうございます。



東京都農業会議

第65回企業的農業経営顕彰

東京都知事賞・東京都農業会議会長賞
吉沢 美智男 様

全国農業会議所会長賞・東京都農業会議会長賞
根岸 祐次・直子 様

東京都産業労働局長賞・東京都農業会議会長賞
植竹 勝義・芳子 様

第45回農業後継者顕彰

東京都知事賞・東京都農業会議会長賞
當麻 大輝 様

東京都農業会議会長賞
山田 茂幸 様

令和7年度農業功労者感謝状

後藤 ナカ 様

北多摩地区農業委員会連合会

優秀農業経営者表彰

竹内 正幸 様

公益財団法人東京都農林水産振興財団

新規就業者奨励賞

青木 栄次 様 飯田 亜矢子 様
小山 勝 様 野中 孝雄 様

内田農業振興会農業功労者表彰

緑綬功労章

中村 正男 様

令和7年度認定農業者等認定書交付式

令和7年度 新たに認定農業者・認定新規就農者となった方へ 小平市長から認定書を交付しました！

令和8年3月2日（月）、認定農業者等認定書交付式を開催し、認定新規就農者となった石井翼さんへ小林市長から認定書が交付されました。

認定新規就農者となった石井さんは、令和6年6月1日に親族より農地を借り受けて就農され、ハウスにおいてシイタケなどの菌床栽培に取り組み、収穫した農産物を直売所やスーパーを中心に届けています。

今年度は、更新8経営体、新規1経営体、認定新規就農者1経営体の合計10経営体が認定されました。市では今後も、都市農業基本構想に基づき、認定農業者、認定新規就農者への支援と、制度の推進に取り組むので、ご理解とご協力をお願いします。



小平市農業委員会管外視察研修報告

令和7年10月31日（金）、小平市農業委員会は管外視察研修を行いました。午前中は、東京都農林総合研究センター（立川庁舎）にて、野菜に関する遮熱対策やハダニ・チュウゴクアミガサハゴロモなど、病害虫対策に関する事例紹介と圃場見学を行いました。午後は、ファーマーズセンターみのーれ立川にて、施設見学を行いました。全体を通じて、質疑応答では活発な意見交換ができ、今後の小平市農業にとって有意義な研修会となりました。



農業委員会会長研究集会報告

令和7年10月9日（木）・10日（金）に兵庫県神戸市にて農業委員会会長研究集会が開催されました。1日目は、まず、兵庫県農業会議の荒木一聡会長から兵庫県の農業を中心に農林水産業全体の概要について説明を受けました。次に、神戸市農業委員会から、神戸市の農業の概要などについて説明を受けました。2日目は、農業の中心地のひとつである西区の農業者の圃場を見学し、意見交換を行いました。



第35回 小平市産業まつり

令和7年11月8日（土）・9日（日）の2日間で第35回小平市産業まつりが市役所周辺、JA東京むさし小平ファーマーズ・マーケットで開催されました。2日目は雨の中での開催となりましたが、大勢の方にご来場いただきました。

会場では、宝船の展示、市内生産者による農産物の品評会、野菜・植木・花の即売会、市内小学校による学童農園の展示、各種団体による模擬店など、催し物が盛りだくさんで、大変賑わいました。また、農業委員会では恒例の、来場者に対して農産物の育て方等の相談に応じるブースを設け、具体的な疑問に対して回答する形でPRを行いました。また、令和7年度は、小平市農業への関心を高めるとともに、楽しみながら学べる参加型企画として農業クイズを実施し、全問正解した方にはエコバックをプレゼントしました。

今後も農業委員会は市内農業の活性化に努めてまいります。



農業委員会の活動について

小平市では、令和8年7月に農業委員の改選が行われます。そこで、農業委員がどのような活動をしているのかを、ご紹介します。

農業委員会とは、主に農地法に基づく許可や届出の受理業務や、農業に関する相談・調査を行っています。その他、農地パトロールの実施による営農状況の確認など、都市農地の保全にも積極的に取り組んでいます。

- ① 各種証明に係る審議のための現地調査（毎月15日前後に実施）
納税猶予農地の定期的な現地調査、相続が発生した農地の現地調査
- ② 毎月開催の総会における協議・議決（毎月20日前後に開催）
農地の売買や貸借の許認可および農地相続に関する各種証明書等の審議など
- ③ 農地パトロール
遊休農地の発生防止のため、生産緑地が適切に管理されているかを確認



現地調査の様子



農業委員会総会の様子

第25期農業委員会をふりかえって

会長 福島浩幸

農業委員会は、毎月の総会において許認可を行うほかにも、農地と農業を守り、次世代へ繋いでいく大切な役割があります。特に近年は、資材価格の高騰や農地の減少、夏の猛暑など農業を取り巻く環境が大きく変化しております。そのような中でも、委員一人一人が現場の声を大切に、丁寧に協議を重ねてこられたことは、大変有意義であったと感じております。

今後も地域の実情に即した柔軟な対応を心がけながら、農業者に寄り添う農業委員会であり続けたいと考えております。

会長職務代理 川島敏明

第25期農業委員会の皆様、酷暑の中また農繁期の忙しい中、農地調査・総会・個別会議への参加など三年間、誠にご苦勞様でございました。皆様と農地の減少・後継者不足・耕作放棄畑など都市農業の課題に取り組んでまいりましたが、抜本的な解決は難しく迷路に迷い込んだ気がいたしました。しかし、静観していると小平市の農業はますます衰退してまいります。これからも機会がある毎に都市農業の課題に意見を出していきましょう。第25期の体験を礎にして、小平市の農業振興に今後ともご尽力賜りますようお願い申し上げます。

農業者年金に 加入しませんか？

農業者年金は、自ら積み立てた保険料とその運用益で将来の年金額が決まる「積立方式」の公的年金です。支払う保険料の全額が社会保険料控除の対象で、運用益も非課税です。

お問い合わせは農業委員会まで

全国農業新聞を 購読しませんか？

全国農業新聞は、農業委員会ネットワーク機構である「全国農業会議所」が発行する週刊紙です。最新の農業情勢のほか、地域の話題やイベント情報も掲載されています。

■月4回 金曜日発行

■購読料 900円(送料、税込み)※

お問い合わせは農業委員会まで

※令和8年4月より900円に改定

NOSAI東京収入保険に 加入しませんか？

収入保険は、農作物の販売収入の減少を補てんします。

●お問い合わせ

東京都農業共済組合

(NOSAI東京)

042-381-7111

編集後記

都市農業に追い風が吹き始めたと言われておりますが、未来に渡って都市農業を継続していくためにはまだまだ制度が追い付いておりません。これからも農業委員の皆様が先頭に立って、農家の皆様、事務局一丸となって声を挙げ続け、都市農業をぜひ守っていただきますようお願いいたします。

平成16年4月から平成21年3月まで産業振興課農業振興係に配属され、第18期、第19期、第20期の農業委員の皆様、令和2年4月からは事務局長として産業振興課に戻りまして第23期、第24期、第25期の農業委員の皆様と共に通算11年間、小平市の農業に関わることができ、さらに農家の皆様からのご理解とご協力もいただきながら職務を遂行できましたこと心より感謝申し上げます。

前事務局長 齋藤 貴彦